

うじたわら

議会だより

No. 109

2021.11.1



令和2年度の施策を検証(決算特集)
重大事件報告書を町長に提出

2p ~ 6p

9p

町政ズバリ聞く (一般質問)
インタビュー (田和利夫さん)

11p~20p

21p

=保育所 運動会=
コロナに負けずがんばろう

令和2年度 決算

一般会計

財政調整基金取り 財政構造の弾力性

崩しが続き、9年連続の赤字 確保に向け行財政改革を



特別定額給付金事業費
(コロナ対策事業)
9億2,917万円



保育所体づくりデ
茶レンジャー育成事業費
400万円



宇治田原山手線整備事業費
3億6,903万円
550万円(繰越)



新庁舎建設事業費
2億4,052万円
1,693万円(繰越)
新庁舎環境整備事業費
1億4,355万円

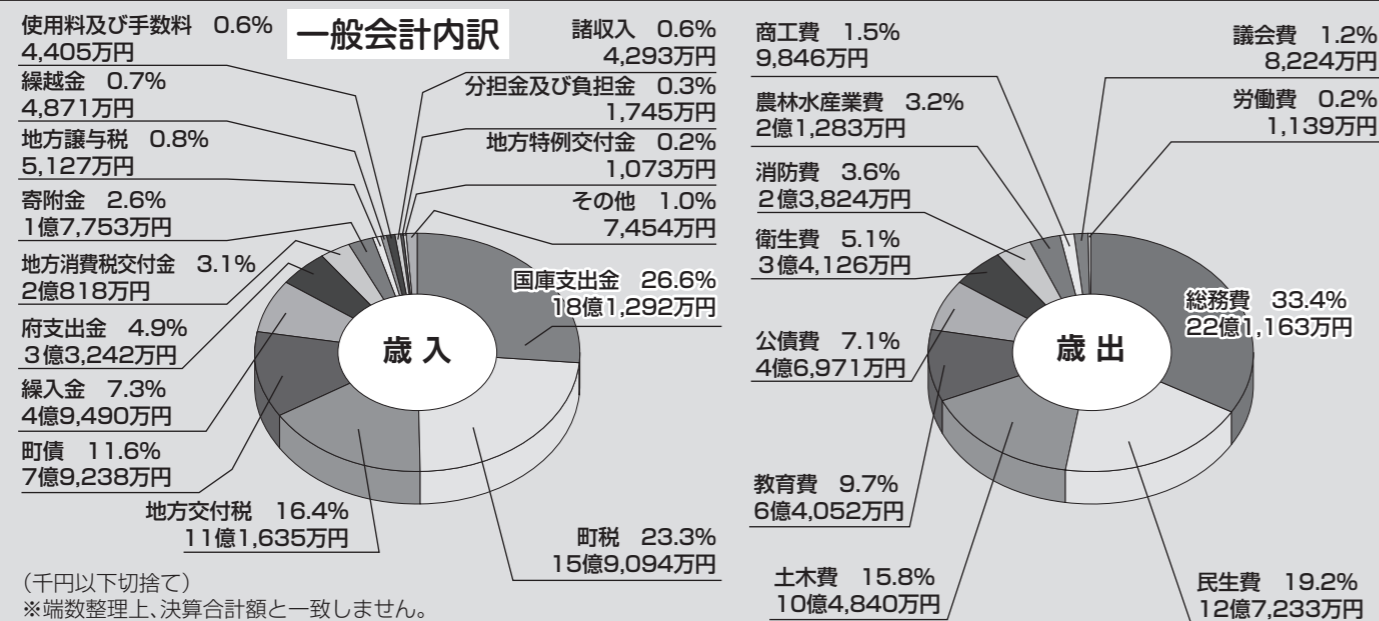


学習用可動式端末等整備事業費
5,899万円



情報伝達システム整備事業費
3,646万円

令和3年第3回定例会は、9月6日から9月29日まで開催した。表彰5件、予算関係2件、条例関係4件、一般議案1件、決算関係6件、人事関係3件について提案があり、原案通り同意・可決・認定した。一般質問には9人の議員がたち、活発な議論を展開した。



各会計の決算一覧

会計名		歳入	歳出	歳入歳出差引額	
一般会計		68億1,535万円	66億2,706万円	1億8,828万円	
特別会計	国民健康保険	9億9,398万円	9億8,412万円	985万円	
	後期高齢者医療	1億3,228万円	1億3,024万円	204万円	
	介護保険	保険事業勘定	7億8,770万円	7億3,876万円	4,893万円
		介護サービス	678万円	441万円	236万円
水道事業会計(税込み)	収益的	2億8,782万円	2億4,787万円	3,995万円	
	資本的	1億5,546万円	2億3,340万円	△7,794万円	
下水道事業会計(税込み)	収益的	4億9,388万円	4億8,323万円	1,065万円	
	資本的	2億7,310万円	4億2,567万円	△1億5,257万円	

(千円以下切捨て)

定例会

決算特別委員会

定例会

決算特別委員会は、監査委員を除く11名で設置し、委員長に浅田晃弘議員、副委員長に榎木憲法議員を選出し審査を行い、6議案すべてを原案通り認定した。

9月17日から24日まで決算特別委員会を開会した。令和2年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計の各決算の個別審査を行った。22日には保育所体づくりデ茶レンジャー育成事業費、総合文化センター



改修事業費、宇治田原山手線整備事業費(緑苑坂以北)の3箇所について、現地審査を実施した。最終日の24日には、総

ここが聞きたい〈総括質疑〉

実質単年度収支は9年連続赤字だが(馬場哉委員)

コロナ禍による影響で事業・行事の中止や縮小があったにも関わらず、実質単年度収支が9年連続の赤字となった。

コロナ禍の影響が無く予定通り事業を実施していれば、もっと赤字が増えた可能性もある。

次年度以降の式典・イベント事業等の見直しの考え方、歳出削減については。

健全な財政運営を図る上で、実質単年度収支の黒字化をめざすこと

括審査を行い、その後それぞれの議案について採決をし、決算特別委員会を閉会した。

重要性は認識している。

コロナ禍における社会経済情勢を鑑みると、今後の税収入の増加は厳しいものがある。次年度以降、新型コロナウィルスの影響により中止や縮小した各種事業については、イベントの開催の在り方等について検討していく。

歳出削減については、引き続き第6次行政改革大綱に基づく、スクラップ&ビルドによる事業の選択と集中の徹底や、歳入増を図る取り組みを行い、持続可能な健全財政運営に努めたい。

もっと聞きたい〈個別審査〉

一般会計(議案第53号)

次年度以降の見通しは

経常収支比率について、前年度から3.2ポイント改善されているが、この現状をどう分析するか。

経常収入、経常支出ともに増加したが、収入は普通交付税が約1億5千万円程度増加したため数値が改善したと考えている。

増加要因は幼児教育・保育の無償化や地域社会再生事業費等の新たな項目が増えたもので、次年度以降も継続されると考えている。

保存期限への対応は

避難所における備蓄

予防接種の管理や支援センターの予約等、好評をいただいている。

使用方の周知や今後の展開は。

支援センターの情報や新たにオリジナルコンテンツの配信も検討している。

空家バンクの現状は

お試し住宅に6世帯入居され、移住されたのは1世帯であり少ないと考える。空家バンクの現状と方向性は。

空家バンクには17件掲載し、成約が11件、解体や民間成約が5件で、現在は1件となっている。

空家は個人の所有財産であり、近隣住民であっても口出ししにくい部分がある。地域においても



南地区にあるお試し住宅

空家は活性化の財産と認識いただき、町としても周知に努めたい。

タブレット効果は

小中学生に1人1台のタブレットを配付したが、その効果は。

一斉、個別、協働学習の3つの分野において教育効果が期待され、タブレット端末の画面を介してお互いの意見交換や発表等、学びを深化させられるような取り組みを行っている。



現地審査(総合文化センター改修事業費)

行財政改革と宇治田原山手線整備を(谷口整委員)

庁舎から先の山手線1・8kmの整備には約5億円の町負担が見込まれ、本町の財政状況では非常に厳しい負担となる。

大胆な行財政改革の推進と、企業版ふるさと納税による新たな財源確保が必要では。

歳出では私自らが先頭に立ち、大胆に聖域なき改革を断行するという強い決意である。優先順位に基づいた事業の取捨

選択を積極的に行い、自主性と継続性のある行財政運営に取り組んでいく。企業版ふるさと納税は、本町の事業に対し民間企業が賛同し応援をいただくとことで、財源確保の面からも大変有益である。工業団地管理組合に山手線対策特別委員会を設置いただいたことに、非常に感謝している。これに対応した基金の創設準備や、制度の周知を図り、賛同いただける企業との調整や営業活動を積極的に行いたい。

反対討論

住民の合意を得てすすめるべき

山本精議員

実質単年度収支は9年連続の赤字となり、投資的経費、普通建設事業費が増大し、実質公債費比率は悪化し、将来負担比率も増加した。財政調整基金の残高は約3億5千万円となった。財政が厳しいからと、これまで積み上げてきた教育・福祉施策、子育て支援策を削るなどあってはならないと考える。高校生通学費補助の削減も、保護者に説明をして納得されていると答弁しているが、様々な不満の声を聞いている。大事なことは住民の合意を得てすすめるべき。

賛成討論

コロナ禍の中スピーディーに事業を実施された

馬場哉議員

宇治田原山手線整備事業等も着実に取り組まれ、防災拠点施設としての新庁舎も開庁を迎えられたことは、喜ばしい限りである。新型コロナウイルス緊急経済対策では、特別定額給付金事業他、スピーディーに事業を実施されたことや、各種施策を積極的に、きめ細やかに実施されたことは評価する。しかしながら、決算状況は、実質単年度収支が4838万4千円の赤字となっており、今後、持続可能な行財政運営に努力されることを希望する。

定例会



マイナンバーカードの啓発チラシ

再交付手数料は
 再交付の仕組み、手数料の徴収方法、カードの有効期限等は、
 再交付については、本人が紛失した等の場合に再交付手数料800円を徴収する。天災等の場合は無料となる。再交付

手数料徴収条例の一部改正
 (議案第50号)
 地方公共団体情報システム機構(ジェイリス)がマイナンバーカードの発行主体として発行手数料を徴収することができるとするもの

総務建設常任委員会

反対討論
 山本 精議員
 マイナンバーカードは国民の情報セキュリティについて十分な保障がないままである。今回の手数料徴収も住民には無料ではなく、町がいったん預かり、それをジェイリスに渡すなど、手間などが増えるだけである。

手数料は町が徴収し、歳入歳出外現金として管理し、ジェイリスに納入する。カードの有効期限は、発行日から20歳以上は10回目の誕生日、20歳未満は5回目の誕生日で更新となり、ジェイリスから通知が送付され、更新時の発行手数料は無料となる。



現地審査(保育所体づくりデ茶レンジャー育成事業費)

国民健康保険会計(議案第54号)

国保税値上げは、どの程度であったのか。
 府から示された標準保険税率では全ての項目で値上げであったが、介護分、支援金分のみは値上げに留め、一般的な試算で1人あたり約2200円程度の値上げとなった。

反対討論

今西利行議員
 国保加入者は、コロナ禍で厳しい経営を強いられている事業者や、無職者が多いが、1人あたりの保険税は平均で約2200円の引き上げとなった。人間ドック事業などへの一般会計からの繰り入れをなくしたことも問題である。

後期高齢者医療会計(議案第55号)

保険料はいくらの値上げとなったのか。低所得者の特例軽減は。
 均等割額が4万7千890円から5万3千100円に改正となったこと等により、年金収入80万円以下の方の事例では、約6千円程度上がっている。特例軽減は少しずつ軽減の対象率が変わり、最終的には本則にのっとって実施するものである。

介護保険特別会計(議案第56号)

コロナ禍により色々な認知症力フェが部分的にしか開けない状況であったが、その取り組みは。
 6箇所の認知症力フェのうち、ボランティアが主体となる「やさらぎ」は、一度も開催されておらず、その他の地区は緊急事態宣言等の発令により8~9回の開催であった。南地区で秋の里が実施されている「にりんそう」では、クラフト作りなど、手先を使つての事業に取り組み、大変好評と聞いている。

文教厚生常任委員会

財産の取得について
 (議案第52号)
 小中学校に配備する電子黒板を取得するもの

既存電子黒板の活用は

耐用年数が経過していない既存電子黒板の台数とその処分方法は。
 平成25年度に維孝館中学校に導入した11台は、まだ10年を経過していないため、田原小学校、宇

治田原小学校、維孝館中学校のそれぞれの特別教室等に設置したいと考えている。
 プロポーザル方式に参加した4事業者の中で、今回契約予定の事業者の提案内容と価格は、株式会社内田洋行ITソリューションズ関西支店は、最低価格かつ、その他の評価基準においても、最高点数の評価であった。



田原小学校の電子黒板

することから、下水道事業の起債残高と毎年の償還額を示した上で、今後の一般会計からの繰り出し見通しを説明すべきです。
 施設の更新を含めた中で今後の経営を考えると、既成前の料金改定は難しいことから、公共水域の水質保全

決算監査意見書(要旨)

令和2年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査、財産に関する調査、各種関係諸帳簿及び証書類等を審査した結果、計数的に正確であり予算執行の成果等各会計とも良好であると認める。
 現地審査についても、資料及び現地での事業状況を審査した結果、事業の執行は適正であると認める。
 本町を取り巻く状況は、今後においても、人口減少、少子・高齢化等により、厳しい状況で推移することが予想されるが、中長期的な視野に立ち、なお一層、適切な事務執行に努められることを期待し、監査の意見とする。
 監査委員

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(要旨)

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増高が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を確実なる実現を強く要望する。

- 1 急速な高齢化に伴い社会保障関係費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

- 3 土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 4 自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

令和3年9月29日 宇治田原町議会

人事案件

固定資産評価
審査委員会委員の選任

大北 康人氏
(岩山)



上辻 治男氏
(奥山田)



矢野 芳巳氏
(南)



任期
令和3年10月13日
令和6年10月12日

予算特別委員会

一般会計補正予算
(議案第46号)

がんばるまちの事業者支援事業に業種の限定はあるのか

給付金対象者に業種の限定はあるのか。昨年度はセーフティネット4号という申請に面倒な条

件もあったが、今年度は、

業種の限定は行って

いない。京都府からの休業要請や、営業時間短縮要請を受けている事業者

以外の月次支援金対象者、および25%以上売り上げが減少している事業者としている。

制度のPRや周知方法は。

周知は町HPやSNS等のWEBでのお知らせをはじめ、チラシ等の紙媒体、商工会の会報等を通じて、しっかりと情報が届くように考えている。

重大事件等調査特別委員会

町長等の給料の特例に関する条例の一部改正
(議案第48号)

特別職の給料月額を町長15%、副町長10%減額するもの

任命責任は重大

元理事に町の重要な事業にあたらせてきた任命責任や、文書管理懈怠を理由とした文書注意は

甘い対応である。不正を見逃した責任は重大と考

えるが。幹部職員ということ

で重要な職務を任せていたことや、外部通報に対する内部調査が結果的に甘かった部分については、大変重く受け止め反省している。

反対討論

任期中50%以上の削減を

今西利行議員

自戒の姿勢については評価するが、町長の任命責任、管理監督責任は大変重く、外部からの告発があったにもかかわらず、不正を見逃したにも関わらず、不正を見過した責任は重大である。その責任に見合った額とは言えず、最低でも任期中50%以上削減すべき。

賛成討論

重大事件委員会報告書に矛盾している

藤本英樹議員

報告書では、職員を管理監督する特別職としての責任を重く受け止める、給料の一部を減額する自戒措置を評価しており、反対討論はその内容と矛盾している。自戒措置についても、相当の処置を講じられており賛成する。

重大事件報告書を町長に提出

これまでの経過

元理事が官製談合防止法違反容疑で逮捕

令和2年12月8日に本町の元理事が、平成29年5月19日実施の「町立保育所一時保育施設等建設工事」一般競争入札にかかる官製談合防止法違反容疑で逮捕された。この事態を重くとらえ、同年12月9日に議会

運営委員会を急遽開催し、「重大事件等調査特別委員会設置についての決議(案)」を審査、その後

全員協議会に諮り、全議員賛成で本会議に提出することとした。

特別委員会設置決議を可決後、重大事件等調査特別委員会(以下、特別委員会)を開催し、「官製談合事件の検証と再発防止を求める決議(案)」

を提出し、全会一致で可決した。

特別委員会は、官製談合事件の事実確認、および再発防止に向けた対応策の検討、ならびに住民の信頼回復に努めるため、再発防止に向けた討議を行った。

さらに「入札制度の現状と検証について」(第1分科会)、「監視機能体制の強化について」(第2分科会)を目的とした2つの分科会を設置し、職員に対するアンケート実施等、分科会ごとに自由討

議等により議論を重ねた。再発防止に向けた報告書を提出

2つの分科会でまとめた検証結果等を調整し、特別委員会で最終的な議論を経て報告書を提出した。

主な提言

《第1分科会》

- 1 入札は原則電子入札とし、導入について早急に進めるべきである。
- 2 入札参加事業者の選定については、参加事業者を増やすべきである。また、指名競争入札の参加資格等の基準見直しが必要である。
- 3 官製談合防止の観点から工事費の予定価格から事前公表すべきであるが、入札価格の高止まり等がみられた場合の対応を整えること。

《第2分科会》

- 1 職員に対して講習会等で、コンプライアンスの徹底を図る取り組みを推進すること。
- 2 公益通報制度の趣旨を職員に理解させ、同時に上司や同僚に相談できる組織風土の醸成を図る
- 3 町長に対し、この報告書を真摯に受け止め、今後このような不祥事が二度と繰り返されることのないよう、万全の措置を講じることを求める。



報告書を町長に提出

町長にに対し、この報告書を真摯に受け止め、今後このような不祥事が二度と繰り返されることのないよう、万全の措置を講じることを求める。



商店にも置かれている町のPR冊子



報告書の全文はQRコードより

一般質問

ズバリ! 町政を問う

9月9日
~10日

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。
主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。



質問者	質問事項
1 今西利行 (12p)	1. 小中学校施設一体型 2. 重大事件 3. 有害獣被害対策 (サル)
2 浅田晃弘 (13p)	1. 住民の生命を守るまちづくり 2. 鳥獣被害防止を図るまちづくり
3 榎木憲法 (14p)	1. 防災対策
4 山内実貴子 (15p)	1. 教育環境 2. まちの美化推進
5 山本 精 (16p)	1. 開発問題 2. 生理の貧困 3. 防災施設

質問者	質問事項
6 藤本英樹 (17p)	1. 交通安全対策 2. 障がい者雇用
7 宇佐美まり (18p)	1. 広報紙の全戸配布 2. 防災・減災に向けての取り組み 3. 町道の維持管理
8 森山高広 (19p)	1. 職員教育の充実と統計的手法の普及
9 原田周一 (20p)	1. 宅地防災 2. 郷土・地域教育

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局 (☎ 88 - 6641) までお問い合わせください。

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	浅田	原田	宇佐美	山本	山内	上野	藤本	森山	馬場	榎木	今西
意見書	意見書第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
表	議案第41号	宇治田原町自治功労者の表彰について(谷口昭弘氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第42号	宇治田原町自治功労者の表彰について(谷川利明氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	宇治田原町自治功労者の表彰について(安井要氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第44号	宇治田原町自治功労者の表彰について(上野藤一氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第45号	宇治田原町自治功労者の表彰について(山中茂治氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	議案第59号	宇治田原町固定資産評価審査委員会委員の選任について(大北康人氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第60号	宇治田原町固定資産評価審査委員会委員の選任について(上辻治男氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第61号	宇治田原町固定資産評価審査委員会委員の選任について(矢野芳巳氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	議案第46号	令和3年度宇治田原町一般会計補正予算(第2号)(旧役場庁舎の解体工事費用等の追加)【1億6,743万7千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	令和3年度宇治田原町介護保険特別会計補正予算(第1号)(過年度分国庫支出金返還金の追加)【1,303万7千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第48号	宇治田原町長等の給料の額の特例に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(重大事件に伴う自戒措置として、給料を町長15%、副町長10%、6か月間減額するもの)	✓	✓	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●
	議案第49号	宇治田原町個人情報保護条例及び宇治田原町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律の一部改正に伴う引用する号の改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第50号	宇治田原町手数料徴収条例の一部を改正する条例を制定するについて(個人番号カード再交付手数料を削除するもの)	✓		可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第51号	宇治田原町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(地区整備計画区域に(仮称)宇治田原インター北地区を追加するもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第52号	財産の取得について(町内3小中学校に配備する電子黒板の取得)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定	議案第53号	令和2年度宇治田原町一般会計歳入歳出決算認定について【歳入68億1,535万円 歳出66億2,706万円】	✓	✓	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号	令和2年度宇治田原町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について【歳入9億9,398万円 歳出9億8,412万円】		✓	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号	令和2年度宇治田原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について【歳入1億3,228万円 歳出1億3,024万円】		✓	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号	令和2年度宇治田原町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について【保険事業 歳入7億8,770万円 歳出7億3,876万円】【サービス事業 歳入678万円 歳出441万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号	令和2年度宇治田原町水道事業会計決算認定について【収益的収入2億8,782万円 支出2億4,787万円】【資本的収入1億5,546万円 支出2億3,340万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和2年度宇治田原町下水道事業会計決算認定について【収益的収入4億9,388万円 支出4億8,323万円】【資本的収入2億7,310万円 支出4億2,567万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎谷口議長は賛否同数以外は表決に加わりません

表決結果

住民の声をどう受け止めるのか

【答】真摯に受け止めている

【質問】

学校施設一体型になった際のバス通学の乗降確認について「見守り隊や教師と協議し検討する。」としていたが、協議はしたのか。

【答弁(学校教育課長)】
コロナ禍の影響で議論を深められなかった。

【質問】

コロナ禍でも、オンラインなど工夫すれば協議はできた。現場の声を聞けば、100名もの下校時の対応を教員にさせるなど、いかにも机上の議論であり、無理かが分かるのでは。

【答弁(教育次長)】

調査支援業務の結果も踏まえ、適切な時期に具体的な方法を検討する。

【質問】

「一体型について住民との合意は得られている。」とのことだが、約1800筆の「計画の白紙を求

める署名」をどう受け止めるのか。

【答弁(教育長)】

要望書は真摯に受け止めている。これまで協議・熟議し、議会でも審議され、住民合意は得られていると認識している。



今西利行 議員

不正を許さない組織づくりは

【答】役場組織が一丸となり取り組む

【質問】

談合・収賄事件の背景に、特定の個人の能力に依存し過ぎた組織や体制がある。同様の事件を二度と起こさないために、コンプライアンスや公益

通報制度の徹底、職員全体の意識改革、不正に断固として立ち向かう組織風土、風通しのよい職場づくりが不可欠では。

【答弁(町長)】

今回の事案は、組織の



猿の被害を受けた畑

情報伝達の改善を

【答】早急に導入に向け検討する

【質問】

8月の秋雨前線の影響による大雨・長雨では、九州・広島に特別警報が発表されるなど、全国各地で被害が発生した。本町については、13日に大雨警報が、午後には洪水警報が発表された。この警報は3日間続く長

雨となり、町は避難に備えて早い段階で自主避難所を開設した。

また、その周知に当たっては、防災長距離スピーカーをはじめ、アプリや安心安全メール等も活用するなど、迅速な周知を行ったものの「聞こえない。」や「何を

言っているのかわからない。」といった住民からの声も届いている。

近隣の自治体では、電話をかけることでスピーカーの放送内容を確認できる、テレホンサービスを取り入れているところもある。本町においても、このようなサービスを取り入れては。

【答弁(町長)】

伝達まであまり時間を要しない、防災長距離ス

ピーカーを町としては重要視し、整備を行ってきた。これまでも色々とご意見をいただく中で、システムや運用面での改善を図ってきた。

提案の長距離スピーカーの放送内容を電話で確認できるテレホンサービスについても、情報伝達手段として非常に有効なものである。本町としても早急に、導入に向け検討したい。

連絡を取り合い被害防止を

【答】出沒情報をHPに掲載

【質問】

本町の鳥獣被害防止対

策の実効性を上げるために、鳥獣の生態や行動特

対応にも課題があった。役場くりが重要である。役場組織が一丸となり、信頼回復に努める。

はぐれ猿被害の把握と対策は

【答】情報提供に努める

【質問】

最近、南や郷之口で起きていた猿の被害状況をどう把握しているか。集団が小さいうちに対策が必要では。地域ネットワークを作り猿情報をSNS等で共有するなど先進的な取り組みを

広げては。

【答弁(産業観光課長)】
追い払いの強化、捕獲檻の設置、住民の通報による被害の把握に努めている。発信器の装着も検討し、他地域の取り組みも参考に、情報提供に努める。



浅田晃弘 議員

性に基づく総合的な被害防止技術を高め、各地域の実情に合わせてその技術を構築していく必要があると思う。

このような観点から有害鳥獣、特に野猿の被害対策については、餌場となっている集落間の移動周期を、これまでの経験値や群れの状況等から予想し、被害に遭われている方などと連絡を取り合い被害防止にあたっては。

【答弁(副町長)】

野猿の出沒情報を昨年度から本町HPに掲載しており、被害対策の参考にしていただきたいと考えている。また、地域においても所有される圃場近隣に近寄れば追い払うことや、近隣圃場の所有者や地域内での連携を図ってもらう取り組みが必要だと考える。



岩山地区長山の土砂崩落現場



民家に出没した野猿

【答】新市街地公園に4基設置予定

避難所にマンホールトイレを



榎木 憲法
議員

【質 問】
コロナ禍の中、「各地

区の自主防災訓練を2年
続いて中止はできない。
今年は小人数で。」との
声を聞いている。各地区
の訓練状況は。

【答 弁】(総務課長)
各地区非常に苦慮され

ておられるが、情報伝達
象外の人の防災意識の希
薄化が懸念される。町民
への意識の覚醒をうなが
す施策が必要では。

【答 弁】(総務担当理事)
防災・減災には住民の

皆様の力が必要である。
「災害は忘れないうちに
やってくる。」との危機
感を常に持続していただ
き、防災意識の醸成・向
上に、町広報紙やHPの
活用、自主防災会の協力
のもとあらゆる機会を通
じて啓発に努める。

【質 問】
平成28年4月に発生し

た熊本地震後、国土交通
省が避難者に、「今、す
ぐに必要なものは。」と
アンケート調査の結果、
第1位は簡易トイレで
あった。

そこで、国土交通省は
断水時にも使用可能なマ
ンホールトイレの設置を
各自治体に呼びかけた
が、現在に至っても導入
自治体は36%である。国
土交通省としては、まだ
備えが不十分と指摘して
いる。本町の取り組みは。

【答 弁】(建設事業担当理事)
マンホールトイレの設
置については平成28年度



設置されたマンホールトイレ (国土交通省HPより)

に導入を計画し、役場庁
舎に隣接する宇治田原中
央公園内で令和4年度の
完成予定である。

【答 弁】(町長)
断水時に使用可能な本
管貯留型タイプのマン
ホールトイレを計画して
いる。設置規模は、発災
後3日までの、一時的な
避難者約350人分の使
用を想定し、4基の設置
を計画している。

学校でのコロナ対策は

【答】更なる予防と学習の工夫に努める



山内 実貴子
議員

【質 問】
新型コロナウイルスの

感染拡大で、学校現場に
おける予防対策の徹底が
必要である。学びの工夫
など、子ども達や、その
家庭が安心できるさらな
る取り組みは。

【答 弁】(学校教育課長)
体温計測や手指消毒の

徹底、マスクの付け方指
導に加え、部活動の停止
など感染リスクの高い活
動をやめている。時間割
の工夫で3密回避、タブ
レットの活用など、創意

工夫している。

【質 問】
満12歳の小学6年生、

また中学生も対象となっ
ているワクチン接種につ
いて、本町での対応は。

【答 弁】(子育て支援課長)
10月、11月に保護者同伴

とする児童・生徒のみの集
団接種を予定している。

【質 問】
コロナ禍でも教育施設

美しいまちへの取り組み継続は

【答】持続可能な取り組みを探る

【質 問】
本町には、美しいまち

にとの思いで整備に取り
組んでくださる方々がお

内や、周辺の整備が計画
的に進められるよう、教
育委員会がチェックをす
べきでは。

【答 弁】(学校教育課長)
教育施設や通学路を含
め、適正な管理に努めて
いく。計画的な実行へ、
保護者や地域の方々のご
支援を受ける中、学校と
も連携しチェック体制を
構築していく。

【質 問】
コロナ禍でも教育施設

美しいまちへの取り組み継続は

【質 問】
本町には、美しいまち

にとの思いで整備に取り
組んでくださる方々がお

学路としての歩道整備は
どうか。この町を、美し
いまちとして継続してい
くための取り組みは。

【質 問】
これまでまちをきれい
にする推進員等が、本町
を美しいまちにと意見交
換を行い、つながってき
た。コロナ禍でも、誰も
が参加できる事業を美化
活動として展開しては。

【答 弁】(建設環境課長)
美しいまちへの思い
のもと、美化活動に取り
組まれている方々にたい
へん感謝している。

【答 弁】(建設環境課長)
まず、推進員や、清掃
ボランティアの意見を聞
く場、知恵を出す場、思
いを共有する場を設ける
よう検討したい。



銘城台交差点の花壇整備



校舎入り口での感染症対策

盛土や土砂災害危険箇所対策は

【答】パトロールを継続し是正指導



山本 精 議員

【質問】 盛土の危険性は、下流域に農地や住宅がある場合、豪雨による土石流により、被害が甚大になる。毎年のように全国で被害が出ている。今年7月の死者24名、行方不明者3名が犠牲になられた熱海

市での盛土崩壊による土石流災害を受けて、国土交通省は盛土の総点検を開始した。盛土や土砂災害危険箇所に対する今後の対策は。

【答弁(建設環境課長)】

町内14か所の盛土箇所及び土砂災害危険箇所

を、府に報告した。関係課とパトロールを継続するなど、引き続き注視し

生理用品の無償配布を

【答】総合的な支援を優先する

指定避難場所の体育館に空調を

【答】空調設備の設置は厳しい

【質問】

近年、全国的に記録的な猛暑が続いている。命の危険を感じる暑さは災害級のものである。

指定避難所の小中学校体育館、住民体育館に空調設備の設置を。

【答弁(総務課長)】

体育館に新たな空調を設置するには、設備機器、室外機等、構造上の検討、設置費用や電気代等の費用が非常に高額となり、現状では空調設備の設置は厳しい。



岩山小釜、サンビレッジ付近の盛土

【質問】 新型コロナウイルスの影響で、収入が減少し、生理用品の購入に困難な女性の存在がある。最悪なケースとして「トイレトペーパーで代用する。」という話もある。



指定避難所 (住民体育館)

女性も、生涯で平均して、35年から40年生理とともに過ごす期間があるといわれている。生理用品の購入に約60万円支出

することにもなるようである。今、全国的な広がりを見せている生理用品の無償配布としては、

通学時、スクールバス導入を

【答】国の動向を注視する



藤本 英樹 議員

【質問】

令和3年6月28日千葉県八街市で小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、2名が亡くなり3名が重軽傷を負う事故が発生した。登下校時

は、集団で列をなしており、事故につながる可能性を秘めている。本町の通学方法は、小学生は徒歩、中学生は自転車、ほとんどである。通学路は交通量の多い国道沿いや、雑草が覆い茂った道路などさまざまである。通学路の除草対応や安全対策は。

【答弁(学校教育課長)】

除草については、地域や保護者の方々の協力を得て対応を進めているが、私有地問題などもあり対応に苦慮している。

【質問】

交通安全対策は、道路管理者、教育委員会、学校、地域が連携を図り、対応していくことが必要不可欠と考えている。

【質問】

総理は、千葉県八街市の事故をうけ「全国の子どもの安心・安全のため、危険な通学路につ

知的、精神障がい者の雇用を

【答】業務の洗い出しから始める

【質問】

本町での障がい者雇用の現状は。

【答弁(総務課長)】

教育委員会1名、それ以外の行政組織で3名の雇用を行っている。

【質問】

身体障がい者の雇用だけでなく、障がい者側

の立場に立ち、知的、精神障がい者の雇用促進についての考えは。

【答弁(総務担当理事)】 本町では多岐にわたる業務を限られた人員で担っており、まずは知的、精神障がい者が担ってもらえる業務の洗い出しから検討していく。



禅定寺区が独自に実施しているスクールタクシー



町内の障がい者雇用施設

広報紙の全戸配布は

【答】現在の配布スタイルを維持

【質問】 主とし、新聞未購読世帯には、窓口での申し込みににより、シルバー人材センターでポスティングサービスを行っている。その対応ができていないのでは。

【質問】 未購読世帯の方々にて、新聞折り込み・HPをセンターによる配布を検討

【答】(総務担当理事) 討できないか。新聞折り込みと比較し、費用が高額になることや配布の迅速性が課題となる。



宇佐美まり 議員

「田んぼダム」の取り組みは 【答】水田の機能を研究していく

【質問】

「災害対策基本法等の一部を改正する法律」を受けて、災害時における円滑かつ迅速な避難を確保するため、どのような強化を図っているのか。

【答】(総務課長) 重点的に整備を進めた防災長距離スピーカーをはじめ、防災アプリ、安心・安全メール、緊急速報メール等で情報発信を

豪雨災害等の発生を未然に防止するため、一旦貯留した水の流出を抑制し、川に流れる量をコントロールできる「田んぼダム」は、災害における減災の一助となるため取り組めないか。

【答】(産業観光課長) 農地を守る取り組みと減災対策の両面に目を向

【質問】

町道の維持管理は 【答】随時補修を行っていく

【質問】 新名神高速道路建設工事や宇治田原山手線の築造工事が進む中、工事に伴う大型車両は、道路に負担を与えている。町道の破損や損傷ほどの程度認識しているのか。

【答】(建設環境課長) 新名神の工事車両による影響が大きい町道は、ネクスコ西日本に補修を依頼している。その他の町道は、随時補修を行っている。



大きく広がる郷之口区の田園風景

も研究していきたい。水田の機能について

職員教育の充実を

【答】あらゆる機会・手法を用いたい

【質問】 コンプライアンス研修の計画と職員教育の現状は。

【答】(総務課長) 外部講師によるコンプライアンス研修等を取り組む。また、「能力を引き出し、高める研修制度

の推進」を改革事項に掲げ、集合研修、資格取得のための研修など計画的に行っている。

【質問】 コンプライアンス研修のみでは効果は薄く、現在の研修制度は改善が必要である。発展する組織

は職員教育に力を入れており、理念の浸透、生産性の向上、コンプライアンスリスクの軽減等を総合的に行っている。本町の組織風土の改善には、理念の再確認から総合的に職員教育の充実を行うべきでは。例えば、京セラや堀場製作所でコンプライアンスの運用、会議の効率化、マネージメント等について学ばせてもらい実践するのはどうか。

【答】(総務課長) 統計的手法を含めた職員研修の充実については、本町の将来を見据えた貴重な提言と受け止め、今後の職員研修の参考としたい。



森山高広 議員

【質問】 組織風土の改善には長い時間と労力がかかるが、優秀な職員も多い。職員にもっと投資し、能力を生かしやすい環境を

【答】(町長) 職員には「忘己利他の精神(自分のことを忘れ、他の人々に尽くす)」を持つてほしい。この精神

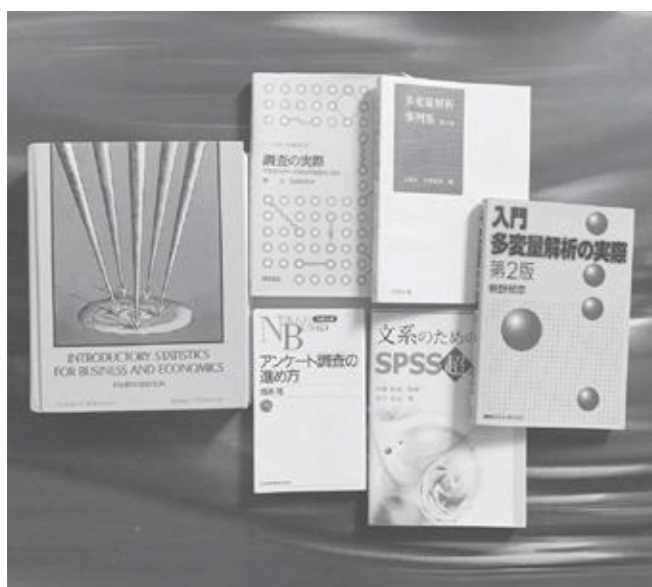
【質問】 職員には「忘己利他の精神(自分のことを忘れ、他の人々に尽くす)」を持つてほしい。この精神

【答】(町長) この思いを伝えるために、議員提言の各種職員研修等を含めたあらゆる機会・手法を用いて職員教育の充実を図りたい。



社員教育が充実している堀場製作所のHP (www.horiba.com)

また、職員にはITと統計学の知識が不足している。統計学とは、どうデータを読み取るかという重要な分野である。管



統計学に関する書籍：入門から応用まで各種

綴喜地区保護司会副会長(研修・広報担当)

たわとしお
田和利夫さん

綴喜地区保護司会が広報紙「厚生保護つづき」を創刊され、本町でも保護司としてご活躍されている田和利夫さんにインタビューしました。



Q. 簡単に自己紹介を

A. 65年前に宇治田原町荒木の地で生をうけ、臨床検査技師として約40年間病院勤務しておりました。

Q. 保護司の活動は

A. 犯罪や非行をした人が、スムーズに地域で社会復帰を果たせるよう、更生の手助けをすること、犯罪や非行のない地域づくりの啓発や、各種団体との連携・協力などを行います。

Q. 保護司になったきっかけは

A. 定年後は何かボランティア活動をと考えていた時、先輩保護司の方にお誘いを受け保護司の道へ。この4月より綴喜地区保護司会副会長として活動しています。

Q. 保護司としてのやりがいは

A. 保護観察対象者が立派に更生し、道で偶然会った時など笑顔で話しかけてくれたり、様々な活動を通して子供たちの成長の様子を見る機会があったり、他団体の方との交流もできたりすることです。

Q. 保護司に関心のある方に一言を

A. 綴喜地区保護司会の会長が「人は変わる」といつもお話しされます。保護司、更生保護女性会の方々と力を合わせ、安心安全な宇治田原町をめざす保護司仲間を待っています。



面談をされている田和さん

町内土石流等の影響は

【答】府の指定は10地区191箇所

【質問】 南山城水害は、ため池

の決壊が原因だった。山の伐採をしすぎて、保水力を失い被害を大きくしたとの記述がある。国土交通省は盛土などの点検を行うとの報道があったが、点検予定は。

【答弁(建設環境課長)】 14箇所の盛土の箇所及び土石災害危険箇所を中

心に点検対応する。

警戒区域5地区112箇所の記載がある。12年経過しているが現状は。

【答弁(総務課長)】 府の指定で警戒区域は

土石流94箇所、急傾斜地

96箇所など10地区合計1

91箇所が指定されている。

【質問】 熱海市の土石流災害で

8箇所、土砂災害特別

【質問】 特例校制度の申請は

【答】申請は行わず現状で

【質問】 本町の小中学校では

「地域学習」に力を入れて

いるが、伝統文化の継

承・郷土教育に更なる理

解を深めるため、特例校

制度の申請は。

【答弁(学校教育課長)】

申請は行わず、現状で

進めていく。「地域学習」

には力を注ぎ、「誇りを持つてふるさとを語れる人」の育成を続けてきた。

【質問】

維孝館学園の冠のもと、時間が経過している。

統合すべき学校間で郷土

学習がバラバラでは教育

行政の本気度に疑問を感じ

るが。

【答弁(教育長)】

令和元年度より、両小

学校で教師が合同学年会

を実施し、共通の理解を

深めている。児童の目線

で教育効果の高い学習が

一致して行えるよう取り組む。

【質問】

歴史や文化に触れる活

動は、郷土愛を育む上で

重要である。子ども達が

歴史を楽しめる取り組み

が必要では。

【答弁(教育次長)】

社会人講師の協力が必

要不可欠である。文化財

の説明板は、27年度から

子ども達にも分かり易い

よう4箇所の更新を実施

している。



南山城水害碑

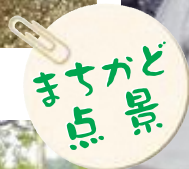
熱海市の土石流災害で



昔の農機具(宇治田原小学校)



活動中の南友花グループ



大宮神社の夏越の大祓式（人形を吹きあげて健康を祈るまつり）



郷之口生森と久御山町による地藏参り（みどりが丘）

次回議会の予定
 〈12月定例会〉
12月6日 月開会日
 詳しい予定はHPにて
 お知らせします。

編集後記

今年の夏は、統計開始以来最も早い梅雨入りに始まり、秋雨前線によるお盆時期の長雨など、夏らしい夏がないまま終わりを告げてしまいました。

日本の気象状況が年々変化してきていると感じております。

住民の皆さま方の生活も、コロナ禍による自粛などにより、かなり疲弊されているのではとお察しいたします。ワクチン接種が順調に進んではおりますが、終息までには今しばらく月日が必要であり、今が踏ん張りどころだと感じております。

「議会だより」は、みなさまに親しまれる紙面をめざしております。ご意見、ご感想をお寄せください。

広報編集委員 藤本